

平成26年度 第6回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 若者から見た川越～



日時：平成26年11月20日（木）

午後6時00分～7時30分

場所：アトレ6階 コミュニティルームA

参加者

20歳前後の若者 16名

出席者

市長、奥山副市長、市民部長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・福祉・医療	1	老人介護施設	13
教育・文化・スポーツ	5	教育行政	11
		成人式開催日	15
		小・中学生の姉妹都市交流	18
		社会教育施設のトイレ	22
		公共施設での学習スペース	22
都市基盤・生活基盤	5	道路整備（蔵造りの町並み）	2
		道路整備（周辺地域）	4
		防災訓練	9
		街路灯と信号の設置	16
		シャトルバス	17
地域社会と市民生活	2	防犯パトロール	9
		クレアモールの取り締まり	11
行財政運営	1	一番力を入れている政策	6
産業・観光	4	観光の経済的効果	3
		イベントの宣伝	6
		小江戸川越	8
		外国人観光客への対応	20
その他	3	臨時職員の待遇	14
		評価される場（顕彰）	18
		気軽に意見交換の出来る機会を	22
計	21		

意見交換（要約）

《道路整備（蔵造の町並み）》

意見 いつも僕は蔵造りの町並みを学校に行くときに自転車で通っているんですけど、観光客の方が歩道に広がって歩いていたりして、自転車なんかが結構通りにくかったりするので、本当に何かなと思うときがあります。

市長 市内の交通について、もうちょっとスムーズに流れるようにしてほしいということですかね。あるいは観光客をもうちょっとうまく流すように。

川越市の道路は、城下町ということで幅の狭い道が多くて、両側に家が建ち並んでいる道を広げるといのはとても大変なことなんですよね。ですから、一方通行をふやすとかそういう方法でスムーズに車が流れるような、あるいは歩行者、自転車のスペースが確保できるような、そういうようなことを進めていきたいと考えています。若干時間はかかるかもしれませんが、一つの目標としてオリンピックまでには、特に旧市街の部分についてはそういうことをぜひ実現したいと考えています。

意見 観光地での歩行者が車道に出ていて危ないという意見に対して、市長さんは一方通行を検討しているとおっしゃっていましたが、その一方通行にはもちろん観光のメインといいますか、一番街が含まれていると思うのですけれども、あそこの道は川越駅の西口からずっと続いている道じゃないですか。あそこを一方通行にしてしまうと車が混乱してしまうし、迂回路も渋滞とかしてしまいます。

自分は一番街に住んでいるのですけれども、住民にとっては結構不便になってしまっていて、案ではないですが、例えば一方通行にするにしても日曜日だけとか、1時から5時までのように時間を区切るなど、住民への配慮といいますか、そういうことは検討されているのでしょうか。

市長 もちろん一方通行にするときは迂回路というか、逆方向の一方通行にならなかった方向の車をどうやって流すかということを当然考えた上でやらなければならないですよね。一番街のメインストリートだけではなくて、町なかのもうちょっと細かい道路についても、一方通行にして歩行者の空間をもっと広く設けたほうがまちとして暮らしやすいというか、そういうまちになるのではないかという、そういう思いがありまして、できれば北部地域全般について、かなりの道路を一方通行にしたいなという思いがあります。

まちの人にとって、いろいろ不便が出てくるというのは、一方通行というよりは歩行者天国ですね。完全に車が入れないようにしてしまうと、いろいろ商売をやっ

る人が仕入れの車をどうするんだよ、とか、そういう問題が出てきます。それからお寺さんも、日曜日を歩行者天国にされると、法事で来る人が入れなくなってしまうのではないとか、そういう不便というか苦情はもちろんあるんですよ。

ですから、私は一方通行の場合ではなくて歩行者天国で完全に通行止めにしてしまったときかなり影響が出るという面があるのではないかと考えています。一方通行は基本的には車だけですからね。自転車とかオートバイとか歩行者は、どちら方向に進んだって、それは規制されないのが普通ですから、それほど一方通行にしたからといって不便は出ないだろうというふうに思っているんですが。

意見 今出た歩行者天国について、多分一方通行にするにあたっては、迂回路を整備してからとのことで、現段階で整備が整っていない、まだ整備が終わっていないと思うのですが、今の段階で川越まつりを除いても、この2~3か月でも日曜日や土曜日に一番街は歩行者天国が多くて、車が通れなかったり、迂回路が混んでしまったりして、住民にとっては動けない状況が続きました。

歩行者天国も良いのですが、住民の意見としては、テーマパークとかではないので、パレードとか囃子連とかが昼間一日中音を鳴らしたり、交通規制を昼間の時間帯、活動時間帯にされるのは迷惑になってしまうので、交通規制、歩行者天国の頻度も考えてほしいなというのは意見としてあります。

《観光の経済的効果》

意見 一番に思っているのは、観光に対する川越市の意識が少し高過ぎるなという気がするんですよ。若者や市民のことを考えていないで、観光だけに目が行ってしまっている。例えば観光が市民に与える利益というのは、実際にはどのようなことがあるのでしょうか。デメリットとしては、先ほどの交通であったり、観光客によってごみが散らかったり、観光のある地域でしかお金がたまらない、などがあるのではないかと思います。結局、川越市のほかの地域のところにはお金が回らないと思うんです。結局その蔵造りの町並みのところにお店を構えているところはお金がもうかって良いと思うんですけれども、私としてはそこに住んでもいないので、特にメリットが感じられないんです。それはどういうことなのでしょうか。

市長 そういうことをおっしゃる町なかの市民の方も結構いらっしゃるというのは承知しているのですが、観光客が来てくれて、お土産を買ったり食事をしたりという形でお金を落としてくれれば、商店の売り上げが伸びて、川越市の税収もふえるという、そういう関係でのメリットはあると思っています。

それと、もう一つ、やっぱりまちに人がいっぱい歩いているという、そういう活気のある状況があるというのは、私はとてもいいことだと思います。もちろん迷惑だという面もあるのでしょうけれども、例えば東京から離れた地方の観光地、川越と同じように重要伝統的建造物群保存地区、伝建地区というんですけれども、そういう地区に選定された地域があるようなところに私は時々行っているんですが、東京から離れたところは見るべきところがあったり、あるいは貴重なものが残っていても、本当に歩いている人がまばらなんですよね。そういう寂しい状況ではなくて、毎日一定度の人歩いていてくれるというのは、まちの賑わいという面ではとてもありがたいなというふうに思っています。

もちろん観光客の中には身勝手な人、あるいはわがままな振る舞いをする人もいて、お店などでも迷惑をこうむるということもなきにしもあらずなんですけど、トータルとして見れば、やっぱりまち全体では来てくれているメリットのほうがずっと大きいと思っています。

確かに観光、観光、ということで、テレビとかいろいろなマスコミで取り上げられているから、川越市は観光にばかり力を入れているのではないかという、そういうご意見もいただくのですが、決してそんなことはありません。ほかの事業についてもしっかりやっておりますので、その辺のところはご理解いただきたいと思えます。

意見 もう一点、すみません。経済に与えるものとしては、税金などはどの程度上がったんですか。

市長 経済的効果ですか。それを厳密にはかるというのはなかなか難しいのですが、これは平成 17～18 年頃のデータですけれども、観光客の人が落してくれる、使ってくれるお金は、少なくとも年間に 70 億円から 80 億円ぐらいという、そういう計算があります。もちろんバスなどに乗る、そういうお金も含めてですけどね。

それがすぐ市の収入に結びつくわけではないのだけれども、それだけのお金が外から川越市内のお店などに落ちるというのは、やはりそれなりの経済効果があるというふうに言えると思えます。

意見 ありがとうございます。

《道路整備（周辺地域）》

意見 私は地域の中心部とその他の地域の格差について質問したいと思います。

私は小堤に住んでいて、鶴ヶ島市と近いのですけれども、道路の整備とかが、すごくなっていない、という失礼なんですけれど、道路が平たんではないのでお年寄り

の方がちゃんと歩いているのかな、と思ったり、運転してみると、やっぱりガードレールとかも少ないと思いますし、鏡（カーブミラー）とかも少ないので、運転している側がすごく危ないな、と思うところが多々あるんです。そういったときに、例えば川越市としては、蔵造りとかにはお金をかけてもらえるのかもしれないのですが、そのほかの、例えばもうちょっと奥の地域にそういう手はかけてもらえるんですか。

市長 道路の整備については、まだまだ整備をしなければならないところはたくさんございまして、特に歩行者の安全を確保するための歩道をつけるような、そういう整備もまだまだ足りないところがいっぱいあるという認識をしています。ただ、どうしても需要が多いというか、多くの車や人が通ったりするところのほうが優先されてしまうという、そういう傾向があると思います。

旧市街だけでなく、小堤であるとか、芳野であるとか、あるいは古谷であるとか、そういうところの地域の道路も順次しっかりと整備していきたいと思っていますので、その辺はご理解をいただきたいと思います。

意見 それはもう考えてあるんですか。

市長 具体的に、次はここ、次はここというふうに決まっている中に、その今おっしゃっている道路が入っているかどうかは何とも言えないのですが、順次、区間を決めて整備は進めております。もしどうしても急いでということであれば、自治会長さんを通じて、ここのこういう道路がこういう状況だから、早く整備をしてほしいという要望をいただければ、少しは早まると思います。

意見 そうなんですか。ありがとうございます。

奥山副市長 今、道路の整備は特に子供たちの安全の確保というのを優先に考えて整備をしています。というのは、通学路の場合、歩道と車道を分けるという意味でガードレールあるいは縁石を入れて、はっきり車と人の歩くところを分けて歩く。これも幅がないとできないですけど、幅があってできる場所は、そういうことをできるだけ早くやろうという動きでやっています。

あと、ガードレールとか入れられないところは、ご覧になったかもしれませんが、人が歩く部分を目印になるように緑色で、「グリーンベルト」というのですが、そういった形で、目で見てわかるように、車と人が通るところが別ですよ、というような形にしています。これはあまり費用がかからないので、そういったところができる場所は急いでやっているところです。そういうのをちょっと優先させていただいているという事情があります。

意見 お願いします。

《一番力を入れている政策》

意見 私は今、大学でCOCのプロジェクト授業を何コマか受けさせていただいているのでいろいろ質問したいと思います。

自分が今いろいろな人の質問を聞いていて思ったことです。今、川越市が一番力を入れている政策、それから今後、要望は出ているけれども難しい、ちょっと実現は難しいな、未来にはできるかもしれないけれど、市長の任期の間にはちょっと無理かなというような政策があれば、教えてください。

市長 一番力を入れている政策は何かというふうに言われたら、1つは、子供の安全確保です。子供のための施策というのには、かなり優先順位高くしてやっています。お聞きになっているかどうかかわからないですけども、子供の医療費を中学校3年生まで無料化しました。私が市長に就任する以前は、小学校就学前の子供まで無料で、小学生・中学生については無料化されていなかったのを、この6年間に段階的に引き上げてきて、中学校3年生まで無料化したとかですね、そういうことをやっています。

それと、やりたいんだけど、まだ先になるだろうなという、そういうふうに思っているのは町なかのことでは川越市駅周辺の整備です。私の考えとしては、あそこをきれいにしないと、そのすぐ北側、市駅の北側の踏切が開かずの踏切の状態なのが解消できないという、そういうこともあって是非やりたいと思っています。ただし鉄道会社である東武鉄道、簡単に言えば相手のあることですからね、市が勝手に駅をこうするああするということになってしまうわけにいかないから、相手があるということが1つと、それから財政的なお金の問題もあって、まだまだ時間がかからないとできないだろうなという、そういうふうに思っていて一番すぐ頭に浮かんでくるのが、市駅周辺の整備ということです。

意見 医療費のことは、4歳の弟がいるのですごくよくわかります。母がタダだからと、喜んで病院に連れて行ってあげられるので、確かにそう言われると。でも、二十歳を過ぎてしまい、まだ母親でもないのが感じる事ができないので、改めて言葉として上の方から聞かされると、ああ、確かに恩恵を受けているなというふうに思います。

《イベントの宣伝》

意見 今、川越のまちおこしに関しての授業を受けていて、いろいろな課題が出てきます。先ほどの交通面のこともありますし、年寄りが多い、若者がもっと来ればいいのという課題もありますが、全体的には宣伝力が少ないのではないかと、弱いのでは

ないかということがすごく出てくるんですね。個人的にもそれは思うことなのですけれども、例えばSNSではツイッターなどでアカウントなどを持っていらっしゃると思うんですけど、自分はツイッターとかフェイスブックとか若者の割に全く手をつけていない人間なので、SNSからの情報源で差が出るんです。そうすると、やはりチラシやポスター、中吊り広告などの紙媒体であると思うんですけど、それにしても見ないなと思うんですね。

この間、私と同じで大塚新田の囃子連に所属している人から、「今度、川越でプロジェクションマッピングをやるらしいよ」ということを聞きました。人づてにしか聞いていなかったんですよ。それを思い出して、動画を探したらすごくよかったんです、個人的にこれはすごいと思って。これを見ることができた人、めっちゃラッキーじゃん、と。でも、プロジェクションマッピングをやるなんていうイベントを聞いたことがないと思って。イルミネーションとかもやっていらっしゃるじゃないですか。でも、川越に普通に住んでいて聞こえてくるイベントというのは、やっぱり花火大会と百万灯と川越まつりだけなんですよね。だから、せっかくいいイベントなのに、その辺のもうちょっと細々としたイベントを何で大々的に宣伝しないのかなというのが本当に疑問なんですけれど、その辺どうですかね。

市長 そうですね、おっしゃるとおり、宣伝の面でまだまだ足りない点があるというのは承知しています。1つは、民間が主催、あるいは主導してやるイベントに関しては、なかなか市が率先して宣伝するというのが難しい面もないことはないですよ。そういうことも1つはあるのかもしれませんが。

ただ、おっしゃるとおり、いろいろな面でまだまだ宣伝が足りない。それから市がやる事業であっても、しっかり宣伝しないがために、講演会なんかも人が余り集まらないとか、そういうこともありますので、これからそういう点については十分改善していきたいというふうに思います。

意見 市長は個人的には、どんな宣伝の仕方がいいと思いますか。

市長 SNSも1つの方法だとは思いますが、実は私もフェイスブックをやっているんです。あれを見ていると、おもしろい動画とか、そういうのがわっと広がるけれども、普通の真面目な記事というのは、やっぱりあまり広がらない、そういう傾向がありそうな気がするんですよ。だから、いろいろな手段を使うといいでしょうか、そうすることが必要だと思うけれども、SNSも一つの方法だし、それからできるだけマスコミに載せてもらうようにする、新聞やテレビ等、そういうものにもうまく働きかけをして載せてもらうとかですね、そういうこともやらなきゃならないと思ってい

ます。

意見 SNSで今思い出したんですけど、ツイッターは真面目な記事は飛ばされてしまうというのは、確かにこの間の月曜日にみんなでチームディスカッションのときにツイッターを見ていたら、「文字だらけじゃね」「読まねえよ、これ、誰も」というぐらいで、ばんばん飛ばしていっちゃうんですよ。確かに若者の活字離れなんていうものが呼ばれている世の中なので、字だらけというのは、どんなに本を読む人でも、多分川越に本当に興味がある人じゃないと読まないのかな、というふうには思いましたね。

メディアに関しても、川越ケーブルを見るんですよ。みかねえとはっちゃんのをよく見ているんですけど、もっと見たいというか、ぜひ何かそういうことをやっていただけたらなと思います。

宣伝ということに対してなんですけれど、前に市役所の方にお話を聞く機会が授業の中であって、さっきの交通、蔵造り通りとか、あそこでもやっぱり上尾のほうに抜けていく道だと思うので、やっぱりどうしても交通量というのは多くなってしま、自然と多くなってしまるところだと思うんですよ。そのために一応市役所としては、観光客の人に通ってもらえるような迂回路をつくっているんだというような話をちょっと聞いたことがあって、ああ、なるほどなと思ったんですけど、その迂回路に行く道の地図、何もなくてねと思ったんですよ。せっかく迂回路をつくっているのであれば、その迂回路に行くといい寺ありますよとか、そういう感じの迂回路があるならば、それをもっとちゃんとやっぱり言うべきなのかなというのも思いました。何より地図なんかもちょっと少ないのかなと。あと本川越の駅前の地図なんてもう古いじゃないですか、多分。だから、誰も利用しないので、誰も見ないだろうなみたいな感じにはちょっと思いました。

《小江戸川越》

意見 小江戸川越という、この小江戸というフレーズ、いつか飽きがきてしまうんじゃないかなというふうに思っているんですけど、小江戸というもの、この先の小江戸について、どういうふうに思っているらっしゃいますか。

市長 なかなか難しい質問ですね。小江戸という名称に飽きが来ってしまうということは、考えられなくはないと思うんですけども、それを歴史的なものに乗っかっている関係で、変える、あるいは全く別の名称を考え出すというのはなかなか難しいと思います。

ただ、言えることは、今、観光客の皆さんは増加傾向なんですけれども、これがいつまでも続くというふうに安泰ではいけない、のんびりしてはいけないということと思っています。観光客に限らず、川越に住んでくれる人も含めてですね、引き続き増えるような、そういういろいろな工夫をこれからもしていかなきゃならないという、そういう認識はあります。

意見 ありがとうございます。

《防災訓練》

意見 私は川越市の消防団に入っているんですけど、その中で9月とかに防災訓練というのが結構数がありました。私は国士館大学で救急救命士になる勉強をしていて、大学は多摩にあるんですけど、多摩市では医療機関、多摩市、あとは近隣の大学なりでかなり大きな防災訓練を行うんです。私が川越市のを把握していないだけかもしれないんですけど、川越市のほうで医療機関、市、住民の方も含めて、そのような大きい防災訓練というのはやられているのですか。もしされていないなら、これからいろんな災害が起きたりすると思うので、対策とか防災訓練とかは考えられていらっしゃるんですか。

市長 川越市がやっている防災訓練にも、医療機関というか、今年の防災訓練にはたしかお医者さんにも来てもらって、訓練に参加した人に話をしてもらったという、そういうことはあると思います。災害時の行動として参加してもらったというのは多分ないと思いますし、防災訓練というのはいろいろな場面を想定してやっておかなければならないというふうに思いますので、これから多摩市がやっているような、ほかの市の様子も参考にしながら、いろいろな訓練をやっていきたいと思います。

《防犯パトロール》

意見 さっきから交通のこととか出ていて道路の話は出たんですけど、私は南古谷に住んでいて、周りに田んぼや畑しかなくて、建物も家ぐらいしかありません。駅は基本的に人がいますが、今日も家に帰ろうと思うと真っ暗で。暗いし道も狭いし、街灯が少ないのもあるんですけど、夜いつも学校帰りとかバイト帰りとかに道を走っていると、車やバイクの人から声をかけられたりとか、自分の親もなんですけれど、女性は危ないということがあります。それは多分、市街地とか川越駅周辺とかも同じで、川越駅周辺とかは逆に人がい過ぎて危ないところがあるんですけど、その一方で、人がいな過ぎて暗い道とかは女性や子供たちはやっぱり危ないと思います。

お巡りさんも時々パトロールをしてくださっているんですけど、時々なので、もう少し市でも川越の市街地とかだけじゃなくもっと全体的にパトロールをしてほしいと思います。あまり人がいないようなところでも、補導員さんとかが回っているのは見たことがあるんですけど、遅い時間とかにはあまりいないので、子供たちだけでなく、大人の女性とかも危険なところをちゃんと見回ってもらいたいなというのがあります。そういうのってやられていたりするんですか。

市長 自主防犯組織というのがあって、地域ごとに防犯パトロールをやったりしているという地域もあるんですよ。南古谷駅周辺もそういうのが多分あるんだと思うけれども、ただ、夜遅くまで、夜の11時とか12時にパトロールをその人たちがやっているかという、それは今のところないと思います、残念ながら。

意見 逆にその人を夜遅くに動かすのというのは、と思いますけれど、街灯とかをもうちょっと増やしたほうが良いのではないかな、と思うんですけど。

市民部長 防犯灯は私の担当で、今、市内に2万2,000灯ぐらい防犯灯があります。基本的には全部の地区を市で把握しているわけではいから、地域の要望によって新規につけています。南古谷のどこですか、場所は。

意見 小中居です。

市民部長 小中居だと古谷地区ですね。

そうすると小中居の自治会長がいらっしゃいますから、自治会長さんに言っていたいて、自治会長さんから市に要望してもらおう。そうすると、防犯灯を予算内でつけています。ちなみに、今、明るくなっていると思いませんか、市内は。防犯灯をLEDにしたんです。既にLEDにしているところはあるのだけれど、今の蛍光灯の防犯灯を全て明るくするために2万500個、今年で全部LEDにしていますから。今まで気づかなかったかもしれないけれど、歩くときに見てくださいね。かなり明るいから。うちのほうでやっていますので、よろしくお願いしますね。

それと、防犯パトロールのことにつきまして、今、南古谷の駅を使っているとおっしゃいましたけれど、南古谷地区はかなり一生懸命防犯パトロールをやっています。自分のところで青パトを1台持っていて、それでやっていますね。

前から市長が言っているんですけど、新河岸駅が終わったら今度、南古谷駅の橋上駅舎化もします。そうすれば、両側へおりられます。そうすることによって、今度、小中居地区が今まで畑、田んぼであまり開発されていないところなのだけれど、そこが開発されるようになると思いますので、かなり期待していいと思います。

意見 でも、南古谷の駅が小さいというのは、もう何年も駅を使っていると思うん

ですけれど、どのくらいでそういうのが始まる予定なんですか。

市長 そうですね。今、新河岸駅の改修をやっていて、それが終わったら次は南古谷だと思っているんですよね。ですから、取りかかれるのが3~4年先で、取りかかるといっても、まずは調査を始めて、どういう程度の駅にしなければならないのかというのを決めて、その上で実際のことを始めるということになるから、私が考えるところでは、工事に着手できるのは、その3~4年先からさらに数年先ということになると思います。

意見 10年ぐらいかかってしまうんですね。

市長 完成だと、多分10年ぐらいかかるのではないかと思います。でも、もう構想にはありますので、期待しててください。

《クレアモールの取り締まり》

意見 私の家は喜多町で、本当にここの近くなんですけれど、私が中学生ぐらいのときは、クレアモールでいわゆるキャッチをやっている方、居酒屋に入りませんかとか何か言ってくる若い男性とか嫌だったんですけれど、最近も本当に多いなと感じています。渋谷とかの大通りでは、やめましょう、みたいな感じが高まっていると思うんですけれど、クレアモールなどには警察の人などをもっと配置して、未成年の人がたばこを吸っていたりするのも毎日見るので、警備を増やしていただきたいなと思います。

市長 確かに呼び込みが結構横行しているというのがありまして、警察もそれなりに対応してくれていると思うのですが、引き続き警察にはその辺についてしっかり取り締まるように、こちらからもさらに働きかけをおこないます。

《教育行政》

意見 私は今、教員を目指しているのですが、子供たちのためにいろいろやっていらっしゃるみたいですね。学校とかと直接かかわりがあるようなものとか、教育委員会と連携しながらやっていることとかあったら、教えてほしいなと思います。

市長 学校とかかわりのある政策や教育委員会と共同でやっていることとかですね。

1つは、オールマイティーチャーです。学校の先生の負担を少し減らすことを考えようということで、3年ぐらい前から市が人を雇って学校に派遣して、教員資格を持っている人をお願いしています。授業をやらしてもらってもいいし、生活指導をやらしてもらってもいいし、ほかの指導をやらしてもらってもいいという、そういう制度を始めたん

ですよね。それは費用がかかるんだけれども、少しずつ人数を増やして行って、いずれ全ての学校に市が雇った先生が行けるようにするという、そういうことを考えて今実行しているところです。それは、あまり目立たないけれども、それなりに評価されています。学校からはいろいろな面で助かるということでおこなっています。

それと、今、課題なのは、学校にエアコンを入れるか、ということで、かなり前からいろいろな要望をいただいている、前向きに考えているところです。

意見 (オールマイティーチャー事業は) 3年だと短いと思うんですけど、何か効果が見られましたか。

市長 校長先生とか希望のあるところからは、来てもらっているいろいろな面でとても助かっていますと。なかなかいい制度を始めてくれたという評価はもらっています。

意見 ありがとうございます。

奥山副市長 あと、なかなか進まないのですが、市内の小・中学校はかなり建物が古くなってきているんですね。建て替えができれば良いのですけれども、なかなか建て替えということにもいきません。そこで、順番でやっているんですけど、古いものを改修してお化粧直ししてきちんと使えるように、さらに寿命を延ばして、50年ぐらい使うのを、もっと、75年ぐらい使おうとか、そのような勢いで老朽改修というのを進めています。

あわせて、教育効果もあるんですけど、学校には必ず太陽光パネルを屋根に乗せて、いろんな形でその自然エネルギーを活用しているということを教育の一環としてもおこなっていますし、その学校のエネルギー対策としても太陽光パネルを使えるように、というようなことをおこなっています。

改修についてPTAから言われるのはトイレの改修なんですよね。古いと使いづらいのはおわかりかと思うのですが、今の子供たちは洋式しか知らないです。自宅に和式というのはなかなかないと思いますので、学校に来て初めて和式のトイレを見ちゃった、ということも多々ありまして、使い方がわからないからトイレに入らないんです。そんなようなことも冗談ではなくあつたりします。和式トイレをなくすわけにはいきませんが、できるだけ洋式トイレを改修し、入れ替えるときに整備する、というようなこともやっています。

意見 ありがとうございます。

市民部長 ちなみに川越市立の小学校・中学校の先生は、埼玉県の職員です。先ほど市長が言ったのは、埼玉県の職員で全部やっているんだけれども、そのほかに市で採用しているということですから、市の職員、川越市立でありながら市の職員でない、

県の職員なんです。なかなかちょっとわかりづらいところがあります。

《老人介護施設》

意見 私は、今、特別養護老人ホームの事務職員として働いています。仕事自体は所沢なんですけど、今、事務の立場として、入居待ちの方が私のところでも 300 人近く、お申し込みをいただいて順番待ちの方でそれぐらいになってしまうんですね。川越でも現状としては、入居待ちの方とかもたくさんいらっしゃると思うし、そういう方はデイサービスとかを利用しながら、お申し込みをされている家族もいるかと思います。川越の場合、特別養護老人ホームとかもありますし増えているとは思いますが、多分、特別養護老人ホームを増やすとしても介護職員がいないという現状ではないかと思っています。大まかな質問になってしまうのですが、そういうことに関して市長はどのようにお考えなのかな、と。ご意見を聞きたいです。

市長 川越市の場合も極めてアバウトな数字だけでも、そういう老人の介護の施設に入りたいのに入れないという人が 1,000 人ぐらいはいると思います。計画的に順次そういう施設をつくってもらってはいるんです。つくってもらっているというのは、民間の社会福祉法人などがつくるときに、建設補助金を出してつくってもらっているのですが、いろいろな制約があって、一度に増やすことができないという現状ですね。

しかも、施設が増えると、そこへサービスを提供するためのお金がかかります。介護士さんなどを大勢雇わなければならないとか、そういうお金も出さなきゃならなくなるわけですね。もちろんその一定部分は、介護保険という高齢者の方、あるいは国民が払った保険料から出るのだけれども、税金から出る部分ももちろんあるんです。それがどんどん増えてしまっているというのが、正直言って現状なんです。これ以上、青天井で増えていっては困るということで、できるだけ施設ではなくて、1つは介護予防といって、そういう介護が必要な状況にならないようにいろんな働きかけをしようというのが、国が今、考えていることの1つなんですよね。

それと、もう1つは、軽度の人にはできるだけ家にいて、デイサービスみたいなのに通うとか、地域の人の中で面倒を見てもらうとか、そういう部分を増やしていこうという、老人介護の世界はそういう傾向にあるんです。それがうまくいけば、どうしても入居しなければならないという人を減らしていくことはできるだろうとは思いますが、入りたくてもなかなか入れないという人がいっぱいいるのが現状です。

《臨時職員の待遇》

意見 私の母は川越市の臨時職員として小学校の事務をおこなっているのですが、一緒に働いている県職の人が体調を崩してしまっていて、週に2回助けにきてくれる人がいるんですけども、それでも仕事はすごく大変そうなんです。市のことなので時間はきっちりしていて、8時から16時までと決められているので、その時間は良いと思うんですけども、県職と同じ仕事をしているのに給料が5分の1ぐらいで、母はもう辞めたいと言っています。母が辞めたとしても、川越市が設けている条件を変えない限り、こういう人が出てしまい、働きにくい市になってしまうのではないかなと思います。それまでは給食センターで臨時職員をしていて、父も地方公務員なので、扶養が外れない限度で働いていたんですけども、8時間になると扶養までいってしまうので、税金を払うようになってしまいます。ですから、非正規がもっと、1回その職場から外れた母のような人たちがもっと、働きやすいまちにしてほしいんですけども。

市長 給料が違うというのは、正規職員と臨時職員の違いとしか言いようがないんです。今のお話では、多分お母さんは扶養家族でいられる範囲内で働いている、あまり収入が多くなると扶養家族から外れざるを得なくなってしまうから、税金面で必ずしも有利でないという、そういう考えで臨時の仕事をされているんだと思うんですけども、簡単に言えば、メリットとしてはそういうことだと思います。

フルタイムで働ける人が全員であれば、それは良いのですけれども、なかなか市としても給料として払えるお金に、簡単に言えば枠がありますからね。どんどんそういう人を増やすということは考えていないんです。

正規職員はどちらかといえば、この20年ぐらいは削減、人数を減らすという方向できております。川越なんかも随分減らしてきていて、そうはいってもどうしても人手が必要な部分については、臨時職員でカバーしようという、そういう体制になっているというのが現状です。

確かに正規職員をどんどん採用すれば、女の人にとっても公務員という仕事は比較的働きやすい職場ですから、良いのかもしれないけれども、いろいろな制約があってどんどん増やすわけにいかない。むしろずっと減らしてきているというのが現状なんです。

意見 県職と同じ仕事をしているのに、給料が同じにならないのはわかるんですけど、全然違うじゃないですか、もらっている金額が。何かかわいそうかなって。全然助けにも来てもらえないみたいで。

市民部長 川越の場合には、もともと市の事務と県の事務が1名ずついたんですけれども、ほかの市町村は県の事務しかいないんですよ。川越市は手厚過ぎたんです。それで市の職員の正規職員をなくしたかったんだけど一度になくせないなので、今回臨時職員を入れているという状況なんです。

給料が違うのは身分の違いですよ。同一労働、同一賃金という法則はあるかもしれないけれども、正規と非正規の身分の違いがあるので、仕方がない部分があります。

《成人式開催日》

意見 私は平成28年の1月に成人を迎えます。今年の成人式は多分、普通に成人の日で開催されると思います。成人の日にするメリットはあまりあるとは思わなくて、やっぱりその前の日に日曜日があるんだから、日曜日にしたほうが良いのではないかなと感じるんです。徳島県ではもう月曜日に成人式を開催している市はなくて、市町村は宇都宮でも日曜日開催だそうです。昔は1月15日が成人式で、それを国が多分良いと思って月曜日に、1月の第2月曜日にしたんだと思うんですけれども、それが最初に国が日曜日に成人式にして、次の日を国民の休日にしたら、多分どの市も日曜日に開催できてたくさんの方が来てくれたと思うんです。それができないので、やはり川越も日曜日に開催するのがいいと思うんですけれども、来年ではなく再来年はどうなりますか。

市民部長 成人式の実行委員会の方が見えていますけれども、今、川越駅の西口にウェスタ川越ができて1,700席のホールをつくっています。来年7月オープンですけれども、今まで運動公園でやっていたのをそこでおこなうかという選択肢があるんです。

もう1つは、前々から要望があって、月曜日ではなくて日曜日にやってくれと。そうすれば地方に行っている人たちも成人式に参加して、その日ゆっくり夜を同級生と過ごして、月曜日に帰れるというのも要望をいただいています。

ただ、それをすぐに川越市で変えましょうというとなると、今度はパーマ屋さんなどが着付けとかあって困ってしまう。だから、そういう調整もしなければなりません。でも、もうその要望は聞いていますから、できれば来年検討していこうよと。来年からやっていきたいというのは、もう内部でも話が出ていますので、いずれ市のほうで、そのほうがいいということで要望を受けて、日曜日にするというのはできると思います。ただ、場所をどちらにするかというのは、ウェスタ川越の大ホールの収容人数は1,700人なので、2,200人ぐらい参加者がいると入り切れないんですよ。2回でやるようになると、それもまた不便だし。もしも1回でやるとなると、大ホールと多目的

ホールというのもありますから、両方でやるという形も考えられます。それは、これから市として成人式をいかに魅力あるものにしなければいけないかということで考えていきたいと思っています。そのためにも成人式実行委員会というのは成人になる人たちでつくってもらい、自分たちで自分たちの成人式を考えてもらおうということで作り始めたものですので、ご理解いただきたいと思います。

28年にできるかどうかわかりませんが、一応そういう要望は毎回聞いていて検討しております。

市長 そういうご要望が多ければ、日にちを変えるのはそれほど難しい問題ではないですからね。

意見 多いというのは、何かその署名を集めるとかそういうことをした方が良いでしょうか。

市長 そういうことをやっていただいても良いのですが、あちこちからこうしてほしい、という声がいっぱい聞こえてくれば、それなりに対応はいたします。

市民部長 いろいろな意見がありますよね。成人式は成人の日にやるんだという人もいるし、いろいろ難しいです。だから、総合的な形で判断させていただきたいと思います。

※ 平成28年1月開催予定の成人式は、成人の日の前日に、ウェスタ川越大ホール等で開催されることに決定しています。

《街路灯と信号の設置》

意見 私は先ほどからお話になる芳野地区に住んでいるんですけども、昨年度のタウンミーティングの議事録を見せていただきましたが、芳野は人口も少ないですし、若い人も少なくあまり話題が出てこないのので、今の芳野の現状をざっとお話しします。

先ほど街路灯のお話がありましたが、私はちょうど川島町と接する入間川の大きい堤防の真下、菅間に住んでいて、そこから毎日本川越駅まで、原動機付自転車で25分ぐらいかけて行っています。

菅間にはまだ街路灯がほとんどありません。大体300メートルに1本ぐらいです。私のおじいちゃんも芳野の自治会長をやっていたことがあって、昔から「街路灯が欲しい」と何度も言っているのですが、街路灯は一向に増えません。

市民部長 街路灯については、先ほどちょっとお話しさせていただいたんですけど

も、自治会長を通じてご要望していただければ。街路灯のほうは 300 メートルに 1 個と言わずに 100 メートルに 1 個つくかもしれません。

市長 要望があったからといってすぐ対応できるかということ、そうでもないのだけれども、自治会を通じての要望がないとなかなか実現しないことは間違いないです。

意見 芳野には工業団地があるのですが、以前、自治会から子供の通学路で、工業団地と通学路の間にあるちょっと危ない丁字路があって、そこに信号をつけてという要望を出したらいいんですけど、それは却下されたみたいです。

市民部長 信号は市の管轄ではなくて、県の管轄で、警察と公安委員会なんです。

意見 いずれにしても、よろしくをお願いします。

《シャトルバス》

意見 私は雨や台風の日、原動機付自転車で駅に行くのが難しいときはバスを利用するんですけども、私が幼いころには市内循環バス、紫色のバスが芳野まで来ていました。でも、今は廃止になってしまったので東武バスを使っているのですが、片道料金が 360 円、往復で 700 円以上かかります。そうすると台風が 3 日間ほど続いたりすると、それだけで結構痛手になってしまいます。私は珍しいんですけど家に 4 世代で住んでいて、ひいおばあちゃんが 97 歳です。昔は市内循環バスで病院まで通っていましたが、そのバスがなくなってしまって、今、病院に通えていない状態です。芳野はお年寄りも多いので、できればそのような市の循環バス、運賃がすごく安いじゃないですか。そういうものがあつたらいいなと思っております。

市長 シャトルバスの件については、なかなか厳しい現状があります。平成 21 年に私が市長に就任した当時は、シャトルバスは 3,000 万円の売り上げを上げるために 2 億円以上の費用がかかるという状況だったんです。確かにサービスだから赤字でも良いのではないかという、そういう考え方もあるのだけれども、そうはいっても赤字はなるべく少なくしたほうがいいということで、路線の見直しとかそういうものをして、あまりに利用者が少ない路線については廃止をするという方向でした。

今、その廃止した部分については、デマンドバスといって、タクシーみたいに、電話して、「ここからこっちに行きたいんですけど来てください」という、ワゴン車なのか実際のタクシーに使っている乗用車を使っているのかはちょっと記憶にないのですが、そういうことを実験的に今やっているところです。

意見 1 つのアイディアとしてなんですけれども、近所のおばあちゃんたちが話していたのを聞いたときに、ほかのどこの地域もかもしれないんですけど、毎週芳野は

回覧板が頻繁に回ってきて、小学校だよりとか中学校だよりとかも毎月来ています。もしそういう回覧板に、今週の何曜日にとどこどこにワゴンタイプの車が来るので、乗りたい人は集まってくださいとか、そういうものがあれば、利用できるかなと思ったんですけど。自ら電話をかけて、自ら乗りにいくというのが、お年寄りには厳しいのかなと。みんなで行くとかだったら良いと思うのですが、そういうのはやってもあまり効果はないのではないかなと思うのですが。

市長 そういう意味で効果がどの程度見込めるのかも含めて今、実験的なことをやっているところなんですよね。それなりの効果があるというのであれば、それを市域全体に広げていって、活用したいと思っていますし、それがあまり効果がないというのであれば、また別の方法を考えるという、そういうようなことをやっているところです。

《評価される場（顕彰）》

意見 私の妹が先日、バトントワリングという競技で世界第2位を獲得して、川越市に表敬訪問に行ったらしいのですけれども、行って、写真を撮って、お話しして終わり、みたいな感じだったらしくて、なんかあまり。妹以外の人で、埼玉県内のほかの町に住んでいる人は、おめでとうとお金をくれたり、市内の特産品をくれたりしていて、広報にも大きく載ったりしているのに、川越市はそういうような頑張っている人が評価される場が少ないのかなと思います。広報にも何か勲章をもらった人とかがちっちゃく、最後のページにちっちゃく写るぐらいな気がして、そういうところがもう少しあればいいのかなと思っています。

市長 スポーツとかいろんな分野で顕著な功績を上げた人に対しては、それなりの顕彰をしているつもりではあるのですが、今おっしゃられたような、そういう面がまだあるというのも理解しますので、今後改善したいと思います。

意見 埼玉県庁に行った際には、何かコバトンの大きいぬいぐるみももらって、すごく喜んでいたので、何かそういう物でなくても、頑張っている若い人がいるよ、というのを発信していただくだけでも良いと思います。

《小・中学生の姉妹都市交流》

意見 私は今日、オッフエンバッハ市訪問中学生交流団に参加したということで呼んでいただいたのですが、小学校4年生のときには川越市が主催する科学の勉強会みたいなもので、夏休みに3日間ほどあったものに参加しました。市内各小学校から2名

ずつ呼んでもらって、私のときには北極の観測隊に参加していた方が講演して下さったり、大洗水族館に行って水族館の裏側を見せていただいたりしまして、それから環境とかに興味を持って今大学で学んでいます。

それから中学1年生のときには、少年の翼ではなくて中学1年生が行く第1回生として中札内に行って、先日、夏休みに6年ぶりにそのホームステイさせていただいた家に行ってきて、すごく喜んでもらいました。

それから私が行ったオッフエンバッハ市の訪問中学生交流団では、ドイツの文化とか環境とかの政策にすごく興味を持ちましたので、来年の秋からドイツへの留学が決まっています。

私は、川越市の教育に対する恩恵を一番受けているのではないかとっても過言ではないぐらい、いろいろなものに参加させていただきました。けれど、それを受けられるのは限りがあるし、お金も厳しいと思うんですけども、でも、そういう体験ってなかなか自分では一歩が踏み出せないけれど、そういう場があって、私がドイツに行くのは市がお金を援助してくれたからというのがあって。それで親も承諾してくれて行けたので、そういう場をできるだけもっと、できればたくさんの子にもっと大きい支援でやっていただけたら、川越市からいろいろな人材が出たりするのではないかなと思います。

市民部長 理科の特別授業についてはわかりません。ただ、中1の中札内はあります。中3の中札内と、あと中3の外国と、これはずっとやっています。だから、もっと拡大してくれと。いろんな子供たちがいろんな場面に、ということですね。

奥山副市長 参加を希望する子供たちが行けるようにと。

意見 そうです。中札内村は人数が少ないというのもあるんですけど、学校で希望をとって行きたい人はほぼ全員行かせるらしくて。

市長 向こうは、小学校も中学校も1校しかないんですよ。しかも1学年の人数がかなり少ないということもあって、そういうこともできるんですけども、川越の場合は1学年3,300人ぐらい各学年いますからね、なかなか難しい。

意見 私がそんなに行けたのは、芳野中は1学年40人で1クラスしかなかったの。

市長 そうですね、川越市内で一番規模が、人数が少ない学校ですからね。

意見 ですが、多分ほかの学校はもっと競争率とかも高いだろうし、もっと行きたい人もいっぱいいると思うので、外国とか北海道とかじゃなくても、そういう理科のとか、そういうものを何かしら提供できたらいいなと思います。

市長 その点については、教育委員会ともよく打ち合わせをして、できるだけ拡大す

るように努力したいと思います。ただ、やはりいろんな面の制約があるというのは、ご理解いただきたいと思います。

意見 僕もこの会に参加させていただくことになったのは、少年の翼なんですけれど、これに参加してとてもいい刺激になったし、良かったなと思っています。

僕は今年、少年の翼の指導者として、また北海道に行きました。向こうでは研修生として今年も村長さんが出てきてくださり、歓迎会などを開いてくれて、いろいろ手厚くもてなしてくれました。違和感があったのは、向こうは村長さんが来てくれて、その人たちと指導先の歓迎会で食事とかもとらせていただいているんですけども、こちらからは市長さんが来なかったなということです。部長さんか誰かが来てくれました。市長さんはいろいろ忙しいとは思うんですけども、姉妹都市としての関係がある中札内村に年に夏に一度、中学1年生のときのそういう大きなイベントというか、事業があるのだから、なるべく優先してこちらに来るべきなのかなと僕は思うんです。

それから、指導者として行って、実行委員会とかここにかかわらせていただいていたんですけど、市がいろいろ負担してお金の面も負担していただいて、それで成り立っている事業ですから、委託する旅行会社との折り合いや予算が厳しいのもあるとは思いますが、なるべく今後もこういう中学生の人が参加できる、経験できることは、長い間なくしてほしくないなというのが僕からの意見です。

市長 私、去年は行ったんです。

意見 研修生のときには多分来てくれています。

市長 今年はほかに優先すべき予定が入っていたもので、代理に行ってもらったんですよね。できる限り行きたいとは思っています。

《外国人観光客への対応》

意見 先ほどから川越市の観光地としての話が多々あったと思うんですが、観光地としてのデメリットもあることにはあるということですが、それでも確実に川越市が観光地として得ているメリットが大きいということを先ほどおっしゃっていたので、その観光地としての点に関して自分にも意見がありますのでお話しさせていただきます。

小学校4年生のころから私は川越市に住んでいて、外国やほかの地方から川越市に来た方から、「川越市駅はどこですか」とか、「本川越駅はどこですか」とか、道を聞かれることがすごくよくあって、それは本当に観光客が多いというのをあらわしていると思います。それと同時に、観光客にとってはその場所がわかりにくいということ

だと思えます。例えば外国人の方が多いというのもあるんですけど、英語とか、今はアジア系の観光客も多いと思うので、中国語や韓国語などのいろんな言語での表示などをもうちょっとわかりやすくしたほうが。観光地として力を入れている場面があるので、もう少しそのような掲示などを充実させたほうが良いのではないかと日ごろ思っていたので、そこのところを聞きたいと思えます。

市長 外国人観光客に対する対応ということだと思えますが、2020年の東京オリンピックの際に、川越でオリンピックのゴルフ競技が行われるということはご存じだと思います。それに向けて当然外国人観光客が増えるだろうし、増やしていこうという、そういう考えがありまして、そのためのいろいろな対応の検討を始めているところです。当然その中で道案内とか看板であるとか、そういうものも検討対象になりますので、そこで協議し、話し合いながら、どの程度、何語と何語の看板をつけるべきのかなど、そのようなことを決めていって実現したいと考えています。

意見 先ほどから、これは県の管轄とかこれは国とか、道の整備のことでも県道とか国道とかで違って、そういう市民の要望に応えるのに、また管轄の問題ですごい連携が難しいと思うんですけど、今の観光客への対応の話でも、やはりオリンピックというのは国の事業で、国としてやることと、市だからできることというのがどういふことがあるのかなというのが、私はあまりわからなくて気になります。

川越市だからできるアプローチの仕方とかで、市だからできることって何かあるのでしょうか。

市長 市ができるというか、市がやらなきゃいけないことの1つにゴルフ場に行く道路の整備があります。これは県道と市道の部分があり、もちろん国道もあるのだけれども、渋滞が常に発生しているのは、主に県道なんですよね。県道だけではなくて、市の道路も整備をしなければならないというのが1つですね。

それと、今具体的にわかっているのはゴルフ場に一番近いJRの笠幡駅なわけですけれども、その整備は市がやらなければならないんです。実は、駅というのはJRのものなのだけれど、なぜか市がやらなければならないんですよね。例えば東武東上線の駅をきれいにするのだって、あれはほとんど市がお金を出してやるんです。というわけで、その駅の整備を、駅前広場等の整備をしなければならないというのと、もう1つは、来てくれる人に対してどういふおもてなしをするのか、今言った外国人向けの看板であるとか、道案内であるとか、そういうものも含めて、それは地元がやらなければならないということですね。

《社会教育施設のトイレ》

意見 僕はよく図書館を使うんですけど、図書館のトイレもちょっと汚いというか、ちょっと古いので、ウォシュレットつきのにしてもらえたらうれしいです。あと、ほかの市民の人が使う図書館とかのほかにも公民館とかも、結構そういうトイレだと思うのでお願いします。

市長 図書館あるいは先ほど出てきた学校とかですね、改修しなければならないのがいっぱいありましてですね、鋭意努力はしたいと思っています。

《公共施設での学習スペース》

意見 私が受験生のときに思ったのは、勉強する場所が少ないのかなと。中央図書館の上に学習室があって、そこまでだと私の家は川越駅の西口あたりで遠くて、できればクラスで、と思いましたが、クラスだと閲覧しながらの勉強しかだめと言われてしまいました。勉強したい人は多分いると思うんですよ。だから、市民の人がより良く、より適切な環境で勉強できるスペースがもっとあればいいかなと。中央図書館とかも割と混んでいて座れなかったりするんで、もっと広げていただければうれしいかなと思います。

市長 川越駅西口に市立高校のテニスコートに使っていて、現在、駐輪場になっている土地があるんですけども、あそこを何とかしてオリンピックまでにものをつくるという、そういう方向で考えています。そこをどういうふうにするかを今検討しているところなんですけど、その中に学生さんが勉強できるようなスペースを設けたらいいとか、そういうような議論も出ていますから、一定部分は実現するんじゃないかと思います。

《気軽に意見交換の出来る機会を》

意見 私が普段から個人的に思っていることなんですけど、今回タウンミーティングという場を設けてもらって、限られた方しか連絡が来なくて、その中からこの方たちみんなで来たと思います。多分大きすぎると收拾がつかないとは思っているのですが、私たちみたいな何かの代表だったという人たちではなくて、一般の本当に学生、小・中学生とかも、小さい子たちからも、というような場を持っているのかわかりませんが、もっとそういう場を、いろんなところで、いろんな場面でやってみたらいいと思います。

それから、これは本当に前から思っていたんですけど、意見を言う場もちょっと堅苦しい人には言いづらいというところがあるので、もうちょっと市長さんに軽い感

じで。硬いと言っているわけではないのですけれど、さっき5分前ぐらいにこちらにいらしたのを私は知っていたのですけれど、ずっとそこに座ったりとかではなくて、コミュニケーションとか会話が…。

市長 コミュニケーションが苦手で…。

意見 そういふのがあるというか。私たち市民からすると、「あ、この市長さんなら、これかなえてくれるかな」とか、「これ言ってみようかな」とかも増えると思うんです。若者の意見も多分少ないと思うので、大人の方とかお父さんとかお母さんとかおじいちゃんとかおばあちゃんだったら、簡単に川越市にこれこうじゃないのとか意見を言えると思うんですけれど、やっぱり若者というか私たちは、そう簡単に、市に興味がないというか、自分が楽しければというところがあるので、もっとアットホームな感じにしていただければ、多分若者にも興味を持っていただけるし、いろんな意見が聞けるんじゃないかなというふうに思いました。

今日は何度か市長さんの笑顔を見られたので、もっと笑顔が見たいなという心理的なことなんですけれど。

市長 貴重なご意見をありがとうございます。十分取り入れるようにします。

意見 もっと何かラフな感じで私はいいと思います。

市民部長 いろいろな場を設けてくださいということなんですけれども、このタウンミーティングについても毎回どういうふうな人たちを集めてやるかというのも検討しています。今の貴重なご意見を参考にしながら、また来年度できるだけ多くの若者たち、みんなのご意見を聞けるような場を設けていきたいというふうに思っています。

市長 本日は、本当に皆さん方には、若いフレッシュな目を見た川越市のことであるとか、私自身に関するとも言っていただきましてありがとうございます。できる限り、生かして取り入れていきたいというふうに考えております。

川越市には市民意見箱という、そういうものもございますので、ここをこういうふうにしたらいんじゃないかというような提案であるとか、あるいはこうしてほしいという、そういうご要望であるとか、そういうものがありましたら、そういうものを書いて投函していただいてもよろしいんじゃないかという考えはあります。

これからもできる限り、市民の皆さんとなるべく身近に接していろんなご意見を聞きながら、市の政治を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

今日は、本当にありがとうございました。